

# コミュニティ ふっ

私と人とまちの間に

2017.NOV  
115号 11

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

## もくじ CONTENTS

### FEATURE

## まち“らしさ”を探せ!

- 2 よ〜い、スタート。……カット! まちの映画、ただいま撮影中。
- 4 チャレンジ! 野路いも復活プロジェクト
- 6 私と家族とまちを元気にする野菜たち 笠縫東グリーンマーケット
- 7 Next きみたちの草津
- 8 ご近所まんが  
くざつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
- 9 より道こ道 「川原・天神社 界限」
- 10 そのまちに…ICT/事業団からのお知らせ
- 11 見つけてスッキリ! / ボイス
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第27回 笑ってくらい  
読者の声

### 矢倉で映画づくりが進行中

「カ〜ット!」。監督の声が響き渡る。出演者もスタッフも緊張が解かれ、笑みがこぼれる魔法の言葉。この日の撮影場所は若宮神社。神さま、クランクアップまで無事に見守ってください。(P.2-3)

色々な冬支度があるものです。江戸時代には「こたつ開き」なるものがあつたとか。旧暦で10月最初の亥の日というから今年には11月20日。こたつでお鍋、心から温かくなる風景ですね。エアコンの温かさとはまたちがう、ぬくもりにてみるのもいいのではなか。



まちは、人の暮らしや営みの集合体。その家その家に連続と引き継がれる歴史があるように、まちにも歴史があります。一人ひとりに個性があるように、そのまちにも個性があるものです。

それは“らしさ”と言われるようなものかもしれません。

自分たちのまちの“らしさ”を見つめ、残す・創る・復活する、それぞれのチャレンジを紹介します。



FEATURE

よーい、スタート。……カット！

## まちの映画、ただいま撮影中。

### 矢倉地域文化継承プロジェクト

矢倉では一年おきの春に東海道筋を練り歩くサンヤレ踊りが、また毎年秋には草木団子を奉納する草木祭が行われます。これらの神事を継承しているのは約400年前に幕府の命により組織された「居住組」の皆さん。この2つのオコナイと居住組の歴史を通じて、地域文化を継承する大切さと家族のきずなを描く自主映画「サア〜行こか」の制作が今、進んでいます。

#### まちの宝

サア行こか。

あ〜、おさえてサンヤレ

サンヤレサンヤレ

よねこ〜よねこ〜

よねこが あねこ〜

ドキュメンタリーとドラマを組み合わせた構成です。シナリオは監督を務める河崎さんが、シナリオ講座で学びながら書きました。

を思い始めていたところに、シナリオ講座があったのです。これが縁でプロの映画監督との出会いもあり、決心しました。そう、映画をつくらう。

#### どうやって伝える

地域の文化を継承していく大切さを映画にして残すユニークな取り組み、スタートは河崎さんの経験からでした。実は河崎さん、これまでもいくつかの地域で地元の高齢者から昔の暮らしぶりを聞き、絵として残していく取り組みに参加していました。その度に、絵と言葉で伝えることの限界も感じていたとか。

「残すための手法はいくつかあります。中でも映画なら、クローズアップで微妙な表情が表現できる。複雑に重なり合う周囲の音や時の流れも、効果的に表現することもできる。私たちが伝えたいことを伝える手法としては最も魅力的でした。」

#### 重なる気持ち

映画は矢倉で今も続く春のサンヤレ踊りと秋の草木祭(県選択無形民俗文化財)が居住組によつて受け継がれてきた歴史を祖父から孫へと伝えていく物語。

「その時、どんな風景が流れ、どんな音が聞こえ、どんな表情をしていたのか。もつと伝える方法はないだろうか。」そんなこと

決めたら即、行動。地元の人に熱く語りかけ、梅岡さんを始め13人の仲間が集まりました。ほぼ全員が矢倉在住、もちろん映画づくりの経験者はいません。「矢倉に来て10年。サンヤレ



踊りは私の団地も歩くので見て  
いましたが、踊りの意味も居住  
組さんが代々継承されていたこ  
とも知りませんでした。素晴ら  
しいと思いました。私みたいな  
人は結構いるもの。ぜひ、加わり  
たいと思いました。」と梅岡さん。

今あるのは仲間とシナリオだ  
け。そこで機材と撮影費用は地  
元の矢倉学区未来のまち協議会  
がバックアップしてくれました。

また、作品としての質を保つた  
め、主要キャストは芝居のレッス  
ンを受けたことのある市民を草  
津アートセンター(クレアホー  
ル)に紹介してもらいました。

地域文化を映画で残す。  
この強い思いに吸い込まれる  
ように、次々と人や団体が名乗  
りを上げてくれました。

「思いを一番ぶつけたのは居住  
組さんです」河崎さんが最も心  
を砕いたのは居住組さんに理解  
いただき、協力してもらおうこと。  
居住組なくして成り立たない映  
画です。

とはいうものの、サンヤレ踊  
りも草木祭も代々継がれ守られ  
てきた神事。祈りの形であって  
見世物ではありません。

河崎さんは居住組の寄合いに  
足しげく通い、オコナイの手伝  
いをしながら、根気よく理解と  
協力を得るための努力を重ねま  
した。こうして一年、双方の思い  
が溶け合いました。ついに冒頭  
のクランクインを迎えたのです。

**はい、OK!**

「よーい、スタート」「カッ  
ト」。撮影順調と言いたいとこ  
ろですが、問題にぶつかってはク  
リアしていくという連続です。

最も苦労するのは映画をつく  
るための段取りや進め方、そし  
て何より演出やカメラワーク、  
音響、タイムキーパーなど映画  
づくりに必要な技術。なにせ、全  
員が映画初心者です。

そこで市やNPOの仲介で立  
命館大学の映像専門家や映画会

社に技術指導のサポートをもら  
えるようになり、大いに助かり  
ました。それでも映画づくりの大  
変さはメンバーの想像以上で  
す。

ひとつのシーンを3〜4日か  
けて撮り、その編集作業にまた  
1か月。まとめてしまうと、なん  
とたった4分。わずかなシーン  
に膨大な時間がかかることを知  
りました。撮影が延び、出演する  
子どもがぐずり出したり、集中  
力をなくしたり…その都度、ス  
タッフがなだめ、気をそらした  
りの連続です。

また、ひとつのシーンの連続  
性も難しいところ。数か月かけ  
る撮影もシーンとしては連続し  
ているので、次の撮影日もまった  
く同じ服装でないといけません。

首にかけた手ぬぐいから、靴  
下、髪の毛の留め方まで「ひとつ合  
わせる必要があります。夏休み  
を挟むと、急に子どもが日焼け  
してたり…なんてこともあるわ  
けです。そのため「撮影の記録」  
がとても大切になります。

それでも、みんな楽しく撮影  
しています。映画の専門用語も  
ずいぶんと覚えました。「監督の  
スタート」のかけ声でチーム

全員が集中します。モニターを  
確認し「OK」が出た瞬間、全員  
の笑顔がこぼれます。この瞬間  
がたまらなく気持ちいい。」と梅  
岡さん。

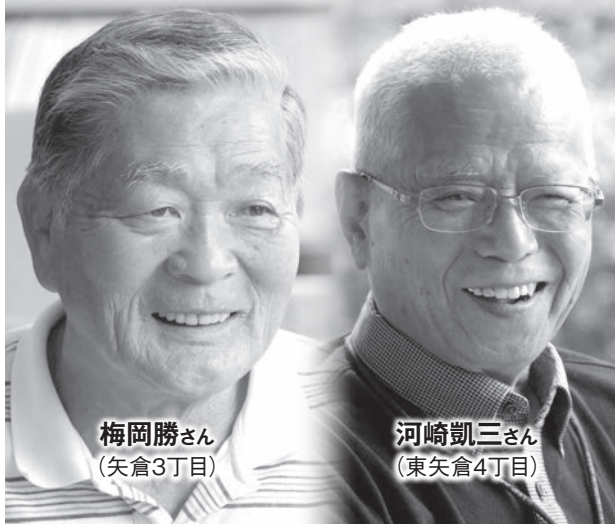
**サア、行こか**

実は河崎さんも梅岡さんも生  
死にかかわる大病を患った経験  
があります。それからは人生が  
変わりました。

「生かされたこれからの人生  
を、人のため地域のためにつけ  
たいと思うようになりました。  
今という時間を生かされている  
こと、大きな声が出せること、笑  
顔で撮影できることに精いっぱい  
感謝したい気持ちです。」

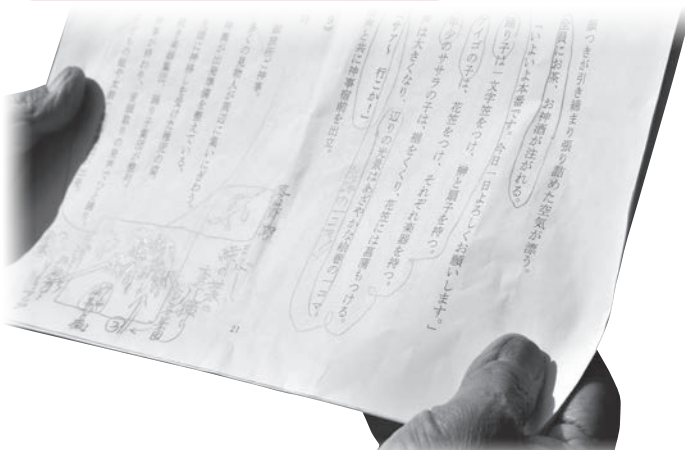
映画の完成は2019年  
春の予定。タイトルの「サア  
行こか」は居住組の出發  
の時の言葉だとか。地域の  
大切な宝をみんなに、そし  
て未来につなぐ映画は今日  
も1シーンごと大切に撮ら  
れていきます。

ほな、今日も元気に、  
サア行こか！



梅岡勝さん  
(矢倉3丁目)

河崎凱三さん  
(東矢倉4丁目)



# チャレンジ! 野路いも復活プロジェクト

## 草津芋栽培研究会

野路。

都市化が進む草津市の中でも、大きくその表情を変えてきたまちのひとつです。

今、この野路でひとつのチャレンジが始まっています。その名も「野路いも復活プロジェクト」。

草津に永く住む人なら懐かしく感じる「野路の芋」。

たった一軒の農家が大切に守り続けたその美味しさに、舌鼓を打つ日も近いかもしれません。



### 野路の芋と赤土

まずは予備知識から。「野路いも」とは野路で獲れるサツマイモのことで「野路いも」という品種があるわけではありません。野路ではかなり昔からサツマイモの栽培が盛んでした。

こういって、野路という土地がサツマイモの栽培に適しているかのように聞こえますが、実はその逆。この辺りの土は昔から赤土と呼ばれる粘土質の重い土でした。

「水をやれば流れ、晴れが続けばひび割れます。スコップを受け入れない硬さは、収穫となると重機が必要。」と話されるほどの赤土は、植物の生長にとつては厳しい環境です。そこに野路いものおいしさの秘密があります。

固い土の中で根を伸ばしてい



く芋は形もポコポコするし、生長にも時間がかかりますが、その分じっくりと甘味を蓄え、滋味深い味わいがあります。

「戦後の食べ物も何もない時代に育ち、おやつといつてもあるのはサツマイモくらい。母がつくってくれる『いもあめ』や、わらで焼く『焼いも』を食べていました。母たちは苦勞して私を育ててくれましたね。何も無い時代に野路の人たちの暮らしを支え、生き延びたのはこの芋があったから。」と研究会の木村さんは遠くなった記憶を話してくれました。

### まちおこしのロマン

都市化。

野路は時代の流れとともに、大きく表情を変えました。赤土の上にはマンションや住宅が建



ち並び、マツタケの産地だった山には工場や大学が建っています。たくさんあった芋畑や梨畑も姿を消しました。「ここもずいぶん賑やかで、便利になりました。ここで芋を育てていたことを今の人にも知ってもらいたい。なにか野路らしさを、せめて芋だけでも残せたら…そんな気持ちでした。」と木村さん。

こうして平成26年、草津芋栽培研究会が生まれました。

偶然、野路の一軒の農家が守ってくれていた「野路いも」が見つかったことも追い風となりました。この苗から「野路いも復活プロジェクト」のスタートです。

研究会には地元野路と草津市農協(JA)や市、それに追分からメンバーが集まりました。農家だけでなく、マンションや新興住宅地に移り住んできた人もいます。



数カ所の畑に20種類ものサツマイモを育て、土地にあった品種を研究しています。「決して適しているとは言えない土に意味を見い出したことはすごいこと。それに地域の人を巻き込み、まちの歴史も含めた『まちおこし』として、このチャレンジはいざれ本物になると信じています。ロマンを感じます」。指導者的な役割をしているJAの池本さんと宇野さんは口をそろえます。

### 気持ちは新たに チャレンジ

活動が始まり3年。試行錯誤の日々です。その年の気候や芋の品種ごとに、肥料の種類、撒くタイミングや量も変わります。蔓のどこからでも根を下ろしてしまふサツマイモは、時々、蔓まくりをしてやらないといけません。

木村幸太郎さん  
(野路7丁目)



「勉強すればするほど難しい」と西川さんは言います。「でもね、みんなでワイワイと楽しく育てています。芋で人がつなぐ時代にはこんな大変な土を相手にしていた昔の人たちの苦労も痛感しました。気持ちは新たに、チャレンジです。」

しめます。研究会では栽培だけでなく、野路いもの最も美味しい食べ方も研究中です。

**夢と現実と**

夢は夢として、研究会では現実もしっかりと見つめています。当面の目標は、まず野路いもが復活し、地元の人々の誇りとなること。「サツマイモといっても品種はたくさん。野路、そして草津の土地にはどの品種が向いているのか、何がおいしいのか、試し試しです。需要がある品種だけを育てていくことは思っています。草津の土産にまでなればいいんですけどね。今はつくったイモを焼いもにして、地元の萩まつりやまちなかの露店で、地元の人に味を知ってもらおうと活動しています。」

西川保夫さん  
(野路5丁目)



JA 営農指導員  
池本清和さん

JA 農産部営農課  
宇野浩一さん



今の悩みは建物がたくさん建ちすぎて畑をつくる場所がないこと。せめて家庭でも楽しめるようにと、プランターで育つ品種も研究中です。」と西川さん。

「損得を考えてたら、やっつけられないよ」と笑いながら、今日もサツマイモ談義に花を咲かせる皆さん。サツマイモの魅力は尽きることはないようです。

「ここに暮らし、野路いもを知って、できることで関わってもらおうことで、ここが故郷になれば」と池本さんは笑顔で話してくれました。

サツマイモで人がつながるなんておいしい話。ぜひ皆さんもご賞味あれ。



調理写真 イメージ

# 私と家族とまちを元気にする野菜たち

## 笠縫東グリーンマーケット

あなたは野菜をどこで買いますか。  
スーパー、八百屋さん、コンビニ、ネット注文、いやいや自分の畑で作っている…。色々な答えがかえってきそうです。  
地元のまちづくりセンターで新鮮な野菜が買えるんです、って言ったら驚きますか。

### 1000円という価値

笠縫東まちづくりセンター（市民センター）に入ると、「えっ!？」

なんと色鮮やかな野菜が出迎えてくれます。キュウリ・カボチャ・ミニトマト・インゲン・シシトウ・オクラ・ニラ・ナス・万願寺トウガラシ・ブルーベリー・イチジク…。どうです、この、かご一杯に並べられた野菜や果物たち。どれも独り暮らしの人にも程よい量に袋詰めされ、生産者番号と値段表示がされています。相場は1000円のように。

これは笠縫東学区まちづくり協議会が今年から始めたグリーンマーケット事業。公募で集まった学区内の生産者が獲れたて野菜を直接、卸します。生産者は現在12人。農家の人もいれば、畑を借りて作っている人もいます。

袋詰めから値段の設定まですべて生産者任せ。センターの職員さんが販売し、売れた量に応じて手数料が協議会に入るしくみです。売れ残った商品は、生産者が引き取ります。

価格を設定し、売れる売れ残るといふ結果がすぐに伴うことで、生産者は「良いものをつくるう。他の人がつくっていないものをつくらう」と良い刺激になっているとか。

### 三方よしのマーケット

喜んでいるのは生産者だけではありません。消費者。そう、お客さんは主にセンターを利用する人。活動のついでに新鮮野菜が買えるのは一石二鳥。なにより地元の野菜だから、生産者の顔が直に見え、安全安心。安くて手ごろな量というのもうれしいところですよ。

## “買ってもらう” やりがい

有江正志さん(76歳・駒井沢町)

生産者の一人、有江正志さんは駒井沢町に引っ越してきて、もうすぐ50年。グリーンマーケットの生産者は農家の方が多いいものの、有江さんのように趣味で野菜づくりをする人もいます。定年後に病を患ったことをきっかけに、これまで奥さんが趣味でしていた畑を手伝うようになりました。今では畑も拡大。奥さんの指導の下、野菜づくりに励んでいます。

「野菜づくりがこんなに楽しいものだとは知りませんでした。今では毎日、朝夕は畑です。働いていたころは、畑をする妻に『ようやるなあ』なんて言っていたのが、今では妻に『ようやるわ』なんて言われています」。

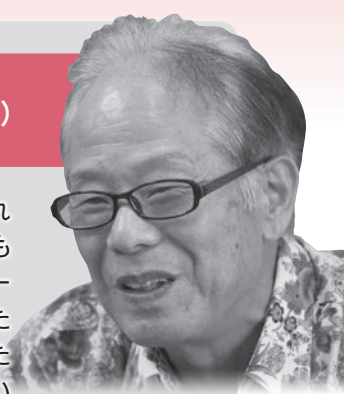
夏には熱中症で1日入院したくらい熱の入れよう、奥さんの言葉もわかります。

「たくさん収穫できたものはこれまで近所にお裾分けし

ていました。でも、かえって気を遣われたり、同じ野菜が重なったり。もらってもらうのも難しいものです。グリーンマーケットは良いしくみです。自分がつくった野菜が初めて売れたときはうれしかったですねえ。やりがいというか、張り合いがでます。今度は何を作ろうってね、どんどん勉強します。

今はスマホがあるから、何でもすぐに調べられて素人でもチャレンジしやすいですね。夏場の水やりの水道代が高くなるから、妻には愚痴られますが、これも勉強代だと思っています。

この秋からは実技がある農業大学校に行くつもり。退職してすぐは色々遊んでいましたが、今は野菜づくりが私のすべて。これも、グリーンマーケットが後押ししてくれています」。



# Next きみたちの草津

次代の草津を担う若い人たちの眼に、ここ「草津」はどのように映っているのでしょうか。見えてくる明日の草津の姿があります。

## 立命館大学 料理サークル

meRci



畑 辰太郎さん  
(3回生 兵庫)

富岡大起さん  
(3回生 大阪)

立命館大学BKCに通う“さわやか料理男子”の2人。4月に料理サークルmeRci(メルシ)を立ち上げました。和・洋・中にスイーツ…。料理なら何でも好き。食べるのも作るのも好き。できれば将来は食品に関わる仕事に就きたい。そんな2人のモットーは「今しかできないことをする!」。この思いがmeRciを立ち上げる原動力となりました。

自宅から通う2人は入学するまで、草津はおろか滋賀もほとんど知らなかったとか。「草津は“学生と社会人のまち”。それとmeRciの活動を通じて、草津野菜を知りました。いずれブランド化され、それをきっかけに全国に草津を知って欲しい」と畑さん。

「草津は良い意味で人と人の距離が近いな、と感じます。わずか数年で色々な出会いがありました。

「1回会っただけなのに覚えてくれている。出会いのまちですね」とは富岡さん。

「自分たちのやりたいことを、ぜひ声に出してほしい。草津の人たちはちゃんと聞いてくれる。サポートしてくれる。自分たちが頑張れば実現できるまちだから」これから草津で暮らす後輩たちへのアドバイスは、私たち草津市民へのエールにも聞こえました。



センターや協議会にとってもメリットが見えてきました。野菜を通じて生産者と消費者、住民同士の会話が增えたのです。料理教室や食育講座といった事業には積極的に協力してもらえ、最近では野菜目当てに訪れる人も増え、センターの魅力がひとつ増えたみたいです。

この日、野菜を買いにきた岬田信義さん(野村・73才)は「町内でポスターを見て、初めて来ました。近所だし、安心して食べられる野菜が良いですね」とうれしそう。

協議会事務局長の多々良さんは言います。

「始めたばかりですが、ほぼ毎日完売して皆さんに喜んでもらっています。ここは都会すぎず、田舎すぎず。古くから住む人も引越してこられた人も、どちらも多い地域です。そのためか、野菜を提供したい人と身近で新鮮な野菜を売りたい人との需給バランスが良いのかもしれないね。

私たちとしてはセンターや協議会のことを知ってもらい、

センターを利用していただく人が増えるとうれしい。なにより野菜を通じて、住民同士の顔が見えてきたことがうれしいですね」。

生産者・消費者そして協議会とみんなが笑える三方よしの事業になりつつあります。急がず慌てず、じっくりと育んでいきたいグリーンマーケットです。



▲イメージ▶

## くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。  
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り上げられる  
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。  
楽しくも少し考えてしまう。  
もしかして…これって、みんなの問題かも。



## みんなの知恵

ゴミを漁るカラスの対策、多くのまちで困っているようです。カラスは一般的な鳥よりも頭がいいと言うのは今や有名な話。道具を作ったり、餌場を記憶したり、他のカラスの行動から工夫したり、と「羽をもった霊長類」と呼ぶ学者さんもいるとか。こうなるとヒトとカラスの知恵比べです。

他にも犬の散歩で出るフンの始末や、最近では鷲のフンで鎮守の森の木々が枯れる被害なんてのも聞きます。もちろん里山や山に行くと獣害はもっと深刻です。動物との共存、みんなが知恵を出し合うことが必要です。

と、行数を割きながらも、ここでの本題は動物ではありません。「みんなで知恵を出す。知恵が出たら、汗をかく。」ということです。これが名案だったかどうか、上手くいくかどうかは別として、ここではふれあいタウンの皆が、まちの困りごとをみんなで共有し、知恵を出し合いました。また、ペットたちの力を借りたのは、「自分たちにすでにある資源を活用した」と言えなくもありません。課題をみんなで共有し、知恵を出し合い、資源を活用しながら困りごとを解消していく。ここに「自分たちのまちは自分たちで良くしていこう」という気概と活動を進めていく骨格があるのかもしれない。

ちょっと鼻息荒くなりましたが、みんなが暮らすまちには大なり小なり何かしらの困りごとがあるものです。それは、多くのみんなが困るものもあれば、少数の誰かが困るものだってあります。一つひとつ、共有してみんなで知恵を絞る。そんな繰り返しが「自分たちでまちを良くしていく」ことにつながります。ローマは一日にしてならず、今日もみんなで考えていきましょう。

これってやっぱり、みんなの問題。



さく・com-com / え・まんじゅう

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！  
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします

くらしサポートセンターしが草津  
くらし何でも相談  
TEL:077-564-5512  
住所：草津市大路1丁目1-1 TEL:932 4F406

センターへの相談は無料です。

- くらしサポートセンターしが TEL: 077-522-4600
- くらしサポートセンターしが大津 TEL: 077-572-7720
- くらしサポートセンターしが彦根 TEL: 0749-27-3500
- くらしサポートセンターしが近江八幡 TEL: 0748-37-5522

53 株式会社 三井田商事

JR南草津駅前に移転しまして6年目を迎えました。  
弊社は京都府下及び滋賀県下でOA機器を販売し、自社でメンテナンスをしております。又、企業一般の方への水の宅配事業も展開しております。弊社も地域と共に発展したいと考え、  
**土曜出勤日には駅前及び会社周辺の清掃活動を実施**しております。  
今後も地域に貢献し、共に成長していけるよう日々努力して参りたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津1丁目1-5  
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651



# より道 こ道



「いつもの道、から  
一歩それてみる。  
大人にこそ寄り道の  
時間が必要だ。」

## 第11回・川原・天神社 境界

石田はま子

あさミどり  
はる たつ空の  
にをひかな

俳諧の祖・山崎宗鑑の句碑が  
建つ笠縫東まちづくりセンター  
(㊤市民センター)から東へ向  
かいます。

左手に見える森は川原の氏  
神・天神社。本殿に伊弉諾命・

伊邪那美命をはじめとした  
十二体の神様がまつられていま  
す。新年には鳥居にしめ縄がか  
けられます。実はこれ、前屈み  
にならないとくぐれないぐらい  
低いんです。「日本誕生の神様」  
家が祭神だから、できるだけ頭  
を低くして敬うのかも」と感  
じたのは私だけでしょうか。

「川原」は、その地名のとお  
り、かつての葉山川から流れて  
きた堆積物により形成された  
地にできた集落です。

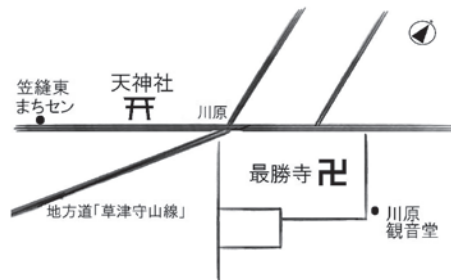
川原の信号を渡るとお寺と  
大木。ここは最勝寺。大木は樹  
齢約400年のツバキ「熊谷」  
です。「輪車がやつと通れるくら  
いの狭い道を改修する際に、こ  
のツバキを伐採する話が出ま

したが、先代の住職や近隣の方  
たちの働きかけで難を免れた  
とか。なんと今では市の指定天  
然記念物にもされており、4月  
には大きな赤い花で春の訪れ  
を告げてくれます。

隣に「ソロバン老僧」と呼ばれ  
た10代住職・願了の碑があり  
ます。華道、医学にも通じた願  
了を顕彰すべく平成26年に建  
てられました。

お寺の敷地に沿って進むと  
左手には川原観音堂。明治の  
神仏分離令でこの地に移され  
た天神社神護寺の観音様がま  
つられ、地元の長老たちにより  
守られています。お堂前には笠  
縫小学校の前身「廣知学校」の  
石柱門が移築され、昔の学校  
を今に伝えています。

最勝寺山門から細い道をた  
どると地方道「草津守山線」に  
出ました。左前方に天神社の  
森が見えます。今回のより道  
は約1km。ゆつくりと歩いても  
30分くらいの散策です。  
地元で伝わるものを大切に  
守り、未来へ伝えていこうとす  
る川原の心意気をみました。



読売新聞

街の安心、安全、  
教育、環境を  
応援していきます。

草津五店会 TEL 077-568-2146

スマイ印刷は、  
自然環境を守る地球に優しい  
製品づくり「エコ印刷」に  
取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com  
本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890  
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525  
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

墨絵アーティスト

# 西元 祐貴

企画展 in CREA HALL

12 / 3日  
13水

世界が注目する墨絵アーティスト西元祐貴から未来のアスリートたちへの贈り物。躍動感あふれる今(現役)アスリートを描いた大型作品が集結。

草津クリアホール  
草津市野路6丁目15-11

入場料 **500円**  
(高校生以下無料)

問合せ 草津アートセンター(クリアホール内)  
☎561-6100 HP <http://creahall.net>

## ひとキラリ まち

イキイキ活動賞  
第1回

いつもありがとう  
コツコツとこれまで  
続けてくれた活動に  
“ありがとう”の  
気持ちを伝える賞です。

2つの活動賞で皆さんをお待ちしています。

★「いいね! 地元の力」部門 ★「なるほど! 市民活動」部門

- 対象 どちらも5名以上のメンバーで5年間を超える実績がある活動
- 授賞数 2部門合わせて上限3団体。
- 授賞内容 賞状および副賞5万円

申請受付期間 **11月13日(月)~12月12日(火)** 必着

● 問い合わせは ●  
(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課  
〒525-0037 草津市西大路町9-6  
☎565-0477 ☎562-9340 HP <http://kusatsu-spp.net>

そのまちに…  
いくと  
**ICT**



ICTがやってきた。

ずいぶん身近に、わかりやすくなったICT(情報通信技術)。今こそ、あなたのまちのコミュニティに活かすチャンスです。そんな事例を毎回ご紹介します。

## マッピング パーティー

まちに出かけよう!

さあ、まちに出かけよう。マッピングパーティーとは、実際にまちを歩き特定のテーマに沿った情報を集めてインターネット上の地図に書き込む作業のこと。消防設備や防犯ポイント、地域の耳寄り情報など自由にテーマを設定することで、災害対策や地域振興などに役立てていくことが期待されます。

現場と地図が融合すると、今まで見えてこなかった現状や課題・位置関係が見えてきます。結果は印刷物やHPでみんなが共有すると、新たな情報をくれる人もいるもの。なにより、地域や仲間とまちを歩くと、楽しいものです。

\*オープン・ストリート・マップ(Open Street Map)という地図データ(無料ダウンロード)を使います。U-Mapも一緒にダウンロードすると写真情報の追加も可能です。(閲覧のみならダウンロード不要)

# 見つけ ズッキリ!

12月が近づくと、あちらこちらでジングルベルが流れ、まちはクリスマス一色。サンタさんを待ちわびて眠ってしまった子どもたちに、どんなプレゼントが届くのかな。そうそう、お菓子がたくさん詰まったあのクリスマスブーツ、草津が発祥って知ってた? 下のイラストには上のイラストとちがう部分が5か所あります。ちがう部分を答えてね。



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

## 応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

※切 **11月15日(水)** 当日消印有効

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号

(公財)草津市コミュニティ事業団

「コミュニティくさつ11月号」係

✉ com-com@mx.biwa.ne.jp ☎ 562-9340

## プレゼント

応募いただいた中からクリアホールのXmasコンサート「クリスマスの贈り物」のチケットを5名様にプレゼント。

### クリアXmasコンサート ♪クリスマスの贈り物♪

～オーケストラとビッグバンドによる、心に残る映画音楽～

**12月24日(日) 15:00～ 草津クリアホール**

♪カサブランカ ♪タイタニック ♪ララランド

♪美女と野獣 ♪サウンドオブミュージック

♪ジョイフルジョイフル ほか

料金 1,000円

詳しくは草津アートセンター(クリアホール内)

## 前回の 答え



● かぞえてズッキリ!

「タマ」は26個でした。

ネコの「タマ」やヒヨコの「タマゴ」は気づいたかな。

## たくさんのご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

# ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

## 今年のMy Happy News

クリアホール

なごみの郷

ロクハ荘

まちセン

アミカホール

ロクハ公園



熊谷栄三郎の  
**徒然草津**  
つれづれくさつ

第27回

笑ってくらい

熊谷栄三郎



「あの人な、してるること、言うてることとが、つらくせんやろ」。草津駅の裏手。年配の二人の婦人がそんな話をしていた。

つらく。懐かしい言葉。帰宅して方言の本を開いた。京言葉で「釣り合い」とある。五十年前、京都から越してきたころは草津でも聞いた言葉だ。今はめったに聞かない。

思い出していると、そのころ飛び交っていた方言が懐かしくなると。頭によみがえった言葉がある。してくらい、という草津弁。

越してきて、親しくなった知人の家にお邪魔したときのこと。勝手にさささと部屋へ上がり込んだら、知人が「その部屋、暗いさかい電気つけてくらい」と言った。

「暗い」と「くらい」の重なり、え？と思ったが、「してくらい」は「してください」のことだろうと、容易に察せられた。以来、町で毎日「くらい」を聞いたものだ。

単語でも初耳なのがあった。例えば松かさやタンコロ。うまい表現だと感心した。

が、いつの間にかそんな草津弁

を耳にしなくなった。「だつてさ」

「俺さ」みたいな東京弁というかテレビ弁全盛である。

人は考えるとき、頭の中で言葉を用いるという。方言を使う人は方言で考えるのだ。すると、方言が消えたらどうなるのだらう。

つい最近の新聞で沖繩育ちの六十六歳の婦人の投稿を見た。「小学時代、方言を話してはいると学力が落ちるので使ってはいけない、と徹底して指導された」とあった。

さて八月末、文科省による今年の全国学力テストの結果を新聞で見た。滋賀の小中学校の正答率は四年連続で全国平均を下回った、などあった。では上位の県はどこか。

表を見ると上位は例年のように秋田、石川、福井、富山など。趣味の溪流釣りでよく訪ねるが、方言が結構残っている県だ。うん、方言が学力を落とすことはないのだ、などと考えてみたが、これはちと早急でトンチンカンな結論かな？ 笑ってくらい。

読者の声

たくさんのご意見ありがとうございます。

9/15号「元気に暮らす、このまちで暮らす。」に寄せられた感想から

- 昨年出産してからというもの、自分の健康管理が後回しになってしまうので、軽くスポーツをしたり健康管理に気をつけていこうと思いました。
- 県外から引っ越してきて2年。地域の歴史に興味があり「より道こ道」を楽しんでいます。
- 徒然草津の「ほっこり」という言い方は、疲れた時に使っていた記憶があります。私は守山市で生まれ育ち、父母が疲れたという意味で使い、私もそのように幼少期は使っていました。また以前の「たり苦しい」という言葉は今も使っています。
- Nextきみたちの草津に写っていた家並みの写真がわが町の全景だったのでびっくり。天満宮の「太くすのき」を見てすぐわかりました。
- 朝夕ポールウォークをしています。バランスよく歩けるので体も心にも健康です。
- クイズ大好きです。思わずワクワクしながら数え直しました。徒然草津も楽しんで読んでいます。
- 給食センターの情報が載っていましたが、最近神奈川での給食問題について報道されていてビックリ。せつかく心を込めて作られているのに「まずい」「冷たい」「混入物がある」など、このようにならないよう祈っています。
- ボイスの大好きだった給食メニューに「クジラの竜田揚げ」が多かったのにはびっくり。私は食べたことがないのでうらやましい。

第18回  
**パワフル 交流・市民の日**

市内で活動するNPO・市民活動団体やボランティアグループがパネル展示・体験・ステージ発表・活動を紹介します。ぜひ見に来てください。

**12月16日(土) 12:30~17:00**  
**まちづくりセンター(草津駅西口)**

講演 12:45~13:45  
**草津が発祥!**  
**クリスマスブーツ**  
**野田さおりさん (株)近商物産**

● 問合せ ●  
(公財)草津市コミュニティ事業団  
まちづくり振興課

広告掲載募集

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に限ります。

コミュニティくさつ  
● 約59,500部発行(年4回)  
● 市内全戸配布のほか、市内公共施設や銀行等に配架

● 1回1枠(名刺サイズ)5,000円

● 申込み・問合せ ● (公財)草津市コミュニティ事業団 ☎ 565-0477

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市費、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。



コミュニティ 2017 NOV 11 日 公益財団法人草津市コミュニティ事業団 編集 525-0037 滋賀県草津市西大路9番6号(まちづくりセンター内) 発行 077-565-0477 077-562-9340 com.com@mx.biwane.jp http://kusatsu.or.jp

